

## 1) 小論文とは

論理的に主張を展開することで、読者にその主張に共感してもらうもの。

※作文： 自分の経験をそのときの感動と共に紹介し、読者に共有してもらうもの。

※感想文： 読んだ本の感想を読者に共有してもらうもの。

※志望理由書： 自分の志望理由を明確に示し、相手校に納得してもらうもの。

## 2) 小論文の構造

序論 ⇒ 本論 ⇒ 結論

※起承転結は構造ではなく、プロットの基本形式。

|                |            |
|----------------|------------|
| 起句： 春眠暁を覚えず    | 大坂本町糸屋の娘   |
| 承句： 处处啼鳥を聞く    | 姉は十六 妹は十四  |
| 転句： 夜来風雨の声     | 諸国大名は弓矢で殺す |
| 結句： 花落つること知る多少 | 糸屋の娘は目で殺す  |

※全世界的に構造は三分形式を採っている。

|            |   |
|------------|---|
| 序論： テーゼ    | 序 |
| 本論： アンチテーゼ | 破 |
| 結論： ジンテーゼ  | 急 |

序論・・・意見、主張、とりあえずの結論

本論・・・展開、主張の補強、反対意見の打破（反証）

結論・・・真の結論

### 3) 評価の基準

- ・適切性① 出題内容に対する適切性
- ・論理性② 論理構成による客観的説得力
- ・表現力③ 読みやすく、理解の妨げとならない文章力
- ・独自性④ 書かれたものが(自身の)真実であることが伺えるほどの熱意

序論・・・意見、主張、とりあえずの結論

<明確な主張①>と<その背景>

本論・・・展開、主張の補強、反対意見の打破(反証)

<主張の展開>

主張から導かれる考察②

<主張の裏付け、補強②>

経験(体験、見聞)に基づくデータ

<反対意見の打破、反証②>

論理的推測に基づく反対意見

その反証データ

結論・・・真の結論

<序論、本論を踏まえた真の結論①>

序論の言い換え

志望理由書④

序論： 主張(志望の宣言)とその背景(夢)・経緯(きっかけ)

本論： 主張の補強(志望理由の補強)

反対意見の打破(志望理由を否定する見解の反証)

結論： 真の結論(将来の展望)

※目標(志望校への入学)と目的(夢の実現)を混同しては書けない。

## 4) 注意すべき事柄

- 書き言葉と話し言葉を混同しないこと。(話し言葉を使ってはいけない)  
文頭の「なので」や「ですので」は絶対に使わないこと。

- 「だ・である調」と「です・ます調」を混用しないこと。  
「～です。～でした。～だった。～ます。」

※小論文は「だ・である調」で、志望理由書は「です・ます調」で書くのが一般的。

- 適切な言葉を選択すること。

「～して頑張りたいです。」 ⇒ 「～に努める所存です。」

「～されたらうれしいです。」 ⇒ 「～することができれば幸いです。」

- 同じ表現を重ねない(重ね過ぎない) こと。

「私は高校時代にブラスバンド部で自己研鑽に努めました。その自己研鑽の結果が～」

「～です。～です。～です。～です。」

- 雑なまとめ方をしないこと。

「なぜかという」、「以上の理由から」「そのような訳で」「以上を踏まえて」などは、論理構造がきちんと構築できていなくても問題無い言葉。

- 論理を飛躍させないこと。(「風が吹けば桶屋が儲かる」式の表現をしない)

「私は大阪に生まれ育ったことから、幼い頃から医療関係の仕事に興味がありました。」

- 作文にしてしまわないこと。(主観に逃げず、客観的論理性に執着すること)

- 予想される課題はきちんと準備すること。(=普段から興味を持って向き合うこと)  
課題の意味をはき間違えれば0点もあり得る。

以上